

英 語 科

1 英語力をつけるための家庭学習方法

英語力をつけるためには4技能の力が必要とされます。

(1) Reading (読む) 力をつけるには

- ・わからないことがあっても、文全体の流れでだいたいの意味をつかみとると力がついてきます。
- ・授業で出てくる単語は、ほとんどが教科書の後の辞書にのっています。単語を調べてから授業を受けてみると、授業がさらによくわかります。

(2) Writing (書く) 力をつけるには

- ・面倒に感じるかもしれませんが、新しく習った単語は、単語ノートや白い紙に何回も書いて練習するのが一番覚えられます。
- ・授業中に出された問題をもとに、単語を入れ替えて英文を作ってみましょう。

(3) Listening (聞く) 力をつけるには

- ・授業中のCDや先生の話す英語をしっかりと聞きましょう。
- ・テレビやラジオ音楽など、日頃から英語に親しむことも役立ちます。

(4) Speaking (話す) 力をつけるには

- ・授業中は先生やCDの発音をよく聞いて、恥ずかしがらずにまねてみましょう。
- ・友だちとペアを組んで話す場合は、進んで話しかけてみましょう。
- ・外国人の先生 (ALT) などに進んで話しかけてみましょう。最初は緊張しますが、自分が伝えたいことが相手に伝わった時の嬉しさは格別です。

2 授業に関連した家庭学習方法

レベル1・・・最低限、宿題はやりきる！

(プリント、単語練習、ノートのまとめ、ワークブック、音読練習、単語意味調べ、本文写し、英作文練習)

レベル2・・・レベル1＋復習 (練習ノートの利用)

レベル3・・・レベル2＋予習 (新出事項の学習、英検、TV・ラジオ講座の利用)

※授業を受ける前に、最低限レベル1までは準備しておきましょう。

以下(1)～(6)はレベル1になります。

(1) 宿題プリント (文法、英文作りなど)

- ① 文法をしっかり復習する。
(例) プrintの () の部分を隠しながらもう一度する。
- ② プrintの例文の単語を変えて自分で英作する練習をする。
- ③ New words の練習もしっかりする。
- ④ インタビューゲームは、声に出して練習する。

(2) ワークブック

- ① 別冊の解答は見ない。
- ② ワークに記載されている文法のまとめを読み、1回目はノートに書く。答え合わせをして間違えたところは徹底的に見直す。単語間違いなら、何度も書いて覚える。文法ミスは自分で解決できなければ先生に聞く。2回目はワークブックにする。同じように答え合わせをし、同じ問題を2度間違えたときは、ノートに何度も書いて自分のものにする。(間違いノートを作るとよい!)
※英作問題はとくに積極的に取り組むこと!

(3) 単語練習

CHECK : 自分のわかっていない単語を、1日10語ずつチェックする。小テスト形式で何も見ず、ヒントなしで日本語を英語にしていく。

★全問正解できたら・・・

翌日、次の10語をチェックする。
CHECKへもどる。

★間違いがあつたら・・・

①つづりを間違えた場合

その単語を発音しながら10回書く。

②全く書けなかった場合

その単語を発音し、意味を確認しながら10回書く。
発音のわからない単語はその場でチェックしておき、翌日先生に聞く。

③翌日、再確認する。前日、間違った単語の再テストをする。

★全問正解できたら・・・

次の10語をチェックする。CHECKへもどる。

★間違いがあつたら・・・

その単語を発音しながら20回書く。

(4) 音読練習

- ① 1年生のうちにアブクドゥ読みをしっかりと覚えてフォニックスの決まりを覚える。アブクドゥ表は教科書かノートに貼っておく。
- ② 1日10回、毎日大きな声で読む（朝読書と同じ帯取り学習）
- ③ 読めない単語が出てきたら、いくつかの単語はカタカナをふって、段々と消していく。
- ④ 教科書や学習ノート（日本語訳を書いたもの）を使って、Read & Look up を行う。
- ⑤ CDやテープを持っている人はシャドウイングを行う。最初は教科書を見ながら最後は教科書なしで。
- ⑥ シャドウイングができる人は一文ずつCDをポーズして教科書を見ずにRepeatし、その後教科書の英文と合っているか確認。
- ⑦ ⑥ができるようになったら、一文ずつCDをポーズして、ノートに英文を書いてみる。その後教科書の英文と合っているか確認。
- ⑧ 暗唱できる人は1ページずつ英文を暗唱し、そこから暗写までレベルをあげる。暗写は最初は日本語を見ながらでもよい。
※暗写とは、暗唱した英文を何も見ずにスラスラ書くこと！

(5) 単語意味調べ

- ① 教科書の下単語は、その意味を教科書の後の辞書で調べ、ノートに単語、意味、品詞を書く。辞書を持っているのであれば、辞書を使い、辞書に慣れる。
- ② 出てきた単語の同義語や関連語が分かれば、それも書く。
(例) fall (秋) に対しては同義語 (autumn) 関連語 (spring, summer, winter, season) が考えられる。

(6) 教科書の本文（英文）写し

- ① 教科書の本文は、間違いがないようにノートに写す。その際に大文字・小文字・記号（ピリオド、コンマ、クエスチョンマーク）に注意する。知っている単語は読みながら日本語の意味を推測しながら写す。

(7) 日本語訳（教科書の本文を日本語に！）

- ① 1年生のうちは授業中に聞いて、学習ノートにていねいに書き取る。
- ② 2、3年生では各ページ、各レッスンごとに、授業が終わったその日に自分で日本語に訳してみ、配布された訳例と比べて、赤で訂正する。

(8) 練習ノートの活用

- ① 本文を3回写す。
- ② ワークに答えを記入する前に、一度ノートに答えを書く。答え合わせをした後、ワークに直接答えを書く。また、間違えた問題の英文を「間違いノート」を作り、繰り返し書く。
- ③ 自分で単語テストをしてみる。
- ④ 習った文型を使って、自分で英作文をする。
- ⑤ 本文の日本語訳を見て、英文に訳す。
- ⑥ 中間・期末テストで間違えた所をやり直す。

(9) テスト勉強の仕方

- ① テスト範囲を確認する。(テスト計画表を見て確認する)
- ② 教科書の単語と基本文型を覚える。
 - ・ 単語の意味は教科書の後の辞書を利用して調べる。
 - ・ 単語と基本文型を声に出して読み、それらのつづりを暗記するまで繰り返し書く。「(3) 単語練習と同様にする。」
- ③ 文法事項を確認する。(2日に1回行う)
 - ・ 授業用ノートのポイント欄を見て、文法事項の説明を読む。
 - ・ 授業で使用した文法プリントをもう一度やり直す。
「(1) 宿題プリントと同様にする」
- ④ 教科書の本文の意味を確認する。
教科書の本文を声に出して音読し、一文ずつ日本語に訳す。合っているかどうかノートに書いた日本語訳または配布された訳例を見て確認していく。
- ⑤ ワークブックをする。
ワークブックの文法のまとめを読んだ後、練習問題に取り組む。答え合わせをして、間違えたところをやり直す。「(2) ワークブックと同様にする」
- ⑥ テストが返ってきたら、テスト直しをする。
テスト直しのプリントや練習ノートに間違えた問題をもう一度やり直す。「間違いノート」を作り、やり直してもよい。分からないところは先生に聞く。

(10) プラスα英語の達人への道

- ① 英検に挑戦したり、TVやラジオ講座などを利用してみよう。
- ② 物語や絵本、ドラえもんやミッフィーなどの英語版の本を図書室で借りて、家でじっくり読んでみよう。
- ③ 卒業までに全員が英検3級の取得を目指して！！